

取材  
de  
キャッチ

## ひびき花の会 若松の素晴らしいロケーションに、季節の花で彩りをプラス!

「ひびき花の会」は平成20年に設立されました。当初、北九州市が環境首都を目指し多くの環境関連企業が進出し、また国内外から多くの視察者が訪れる「ひびき埋立地」の雑草やゴミ処理対策として、地域市民、若松高校生、立地企業と共同で「菜の花」や「ひまわり」を主とする花を育てながら周辺の美化活動を行ってきました。

現在は、障害者福祉事業者であるソーシャルファーム高山(株)の「SFT北方事業所」が道路サポーターとして「北緑地駐車場」に設置されているコンテナに花苗を植付け、その周辺で清掃活動を行っています。

活動メンバーは30人。年に3~4回活動をおこなっています。活動の日は北方事業所から数台の車に花と清掃用具を積み込み、遠足気分以北緑地駐車場へ向かいます。

到着すると誰が指示するでもなく、みんな手際よく花苗を下ろし、プランターの様子を確認しながら、枯れた花を抜き取り、雑草は抜いて、ゴミを取り除き作業を行います。合わせて周辺の清掃と草抜きを行います。

作業は2~3時間で完了です。ゴミを車に積み込み、その後はみんなでしばらく海を眺めて休憩をします。

北方事業所での作業は、眉間にシワを寄せて黙々と仕事をこなしていますが、若松の素晴らしいロケーションの中での活動は、ニコニコ笑顔でストレス解消にもなり最高に気持ちがいいです!と話をしてくださいました。



取材  
de  
キャッチ

## 山路松尾町年長者の会 地域コミュニティとしての道路サポーター活動を笑顔で実践中。

会が発足して約20年の団体さんです。取材のお話をしたら「難しいことは聞かないでね～」と笑いながらお受けくださいました。

当初は地域の老人会の活動として「住んでいる周辺を綺麗にしよう」ということから始められました。

道路サポーターに加入されたのは15年前。老人会の活動をそのまま引き継ぎながら、合わせて花苗も植えるようになったそうです。

活動メンバーは40名程で、毎回20名程が作業を行います。活動として「清掃活動」は週に2~3回、メンバーの住まい周辺、近くの公園周辺、幹線道路沿いでゴミや吸殻を拾います。毎回、ペットボトルや煙草の吸殻で袋一杯になるそうです。

また、「まち美化いっせいで清掃」の時は、メンバー全員で活動範囲の草抜きから清掃までを行います。

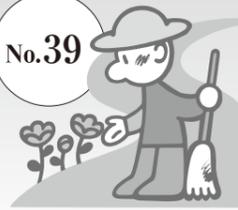
「花苗の植付け」は年3回行っています。地域にある老人ホームの方と一緒に植えます。花壇のまわりにはいくつかベンチが置いてあり、花植えが終わるとお茶を飲みながら話が弾んで笑い声が絶えません。

普段の管理は?とお尋ねしたところ、「冬場は、水管理もそんなに大変ではないのだけど、夏場は水管理が大変なのよ。当番を決めているわけではないけれど、朝夕、みんなが集まってきて管理をしているのよ。花柄摘みも小まめにやってるわよ」と楽しいそうにお話をしてくださりました。

活動も20年近くたち、メンバーが高齢化しこれからはゆっくりの活動になるだろうと言われていました。この活動が地域のコミュニティの役割を果たしており、皆さんとの関りが健康増進にもなっていると感じました。これからも無理のないよう続けて欲しいと思います。



No.39



# 北九州市 道路を愛するみなさんを応援! 道路サポーターだより

## 道路サポーター総会の開催が決まりました!

### 第14回 北九州市道路サポーター総会 《開催内容》

【日時】平成31年3月22日(金)●14:30~18:20

【場所】AIMビル3階G展示場  
(小倉北区浅野3-8-1)

ぜひご参加  
ください。



### プログラム

#### イベント

14:00~ | 花植え講習会 西日本環境ネットワーク 御園様

#### 総会

15:15 | 開会  
主催者挨拶 北九州市長 北橋健治  
来賓挨拶 国土交通省九州地方整備局  
道路サポーターの会代表挨拶  
活動10年団体表彰  
国土交通省道路愛護表彰

道路サポーター取組状況説明  
新規団体紹介  
幹事・運営NPO法人の紹介  
記念撮影  
閉会

16:30

#### 区会(区毎意見交換会)

16:40~

#### 交流会

17:20 | 交流会開会 挨拶・乾杯  
18:20 | 閉会



## 北九州マラソンをまち美化でおもてなし!

平成31年2月16日(土)、小倉北区あさの汐風公園で、「スポーツGOMI拾いin北九州~第6回北九州マラソンを勝手に盛り上げよう大会~」が開催されました。

この大会は、翌17日(日)に行われた「北九州マラソン2019」に参加するランナーや応援する皆さんを、ごみのないきれいなまちでおもてなしをしようといわれたもので、今年で6回目。北九州市道路サポーターの会からも5チームが参加しました。

スポーツGOMI拾いとは、決められた範囲・時間内に、チーム対抗でごみの量と質をポイントで競う、地球に最もやさしいスポーツです。当日は、マラソンゴール会場のあさの汐風公園周辺を清掃し、競い合いました。

この日、1時間のごみ拾いで集まったごみは、一般ごみ、プラスチック製容器包装、かん・びんペットボトル、たばこの吸い殻、ペットボトルのキャップなどを合わせ、総重量は36kgにもなりました。

道路サポーター団体結果は、北九州市建設局チームが惜しくも2位、高坊2丁目南町内会の皆さんが特別賞を受賞しました!

日頃の清掃活動の経験を活かし、丁寧に、効率よくごみを拾い、道路サポーターの実力を見せてくれた参加者の皆さんの姿は、道路サポーターのPRにつながったと思います。



今度は皆さんの活動地域へお邪魔するかもしれません…。 ●今回ご紹介した団体へのお問い合わせは、下記事務局まで。

### ホームページをご覧ください!

●北九州市道路サポーターのホームページアドレス

<http://www.road-supporter.com/>

北九州市道路サポーターのホームページは、知りたいことがすぐわかるような構成とし、活動レポートやニュースなど、「サポーターだより」でご紹介しきれない情報や各区の認定団体さんを掲載しています。「サポーターだより」ともどもご活用ください。

新規団体をご紹介いただける方、清掃や花苗・取材などについてのご相談、お問い合わせは…

[東部事務局(門司区、小倉北区、小倉南区、戸畑区)] NPO法人 ふきの会 Tel.(093)511-6700 担当:古海  
[西部事務局(若松区、八幡東区、八幡西区)] NPO法人 西日本環境ネットワーク Tel.(093)513-2651 担当:御園

【企画】 〒802-0001 北九州市小倉北区浅野2丁目16-43 NPO法人 ふきの会 Tel & Fax : (093)511-6700

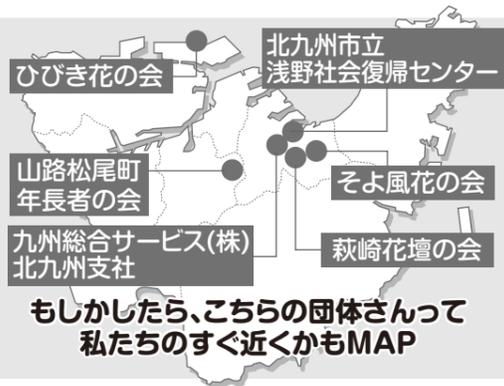
【発行】 北九州市 建設局 道路部 道路計画課 Tel: (093)582-3888

平成31年3月発行

# 団体交流掲示板

～この道では、どんな皆さんが活動しているの?～

身近なところで、いきいきと活動を継続している団体の皆さん。それぞれのちょっとした工夫やアイデアが、これからの活動のヒントになるかもしれません。



取材  
de  
キャッチ

## 北九州市立浅野社会復帰センター 道路サポーターとして、通学路の清掃でまち美化に貢献したい。

11月15日の活動日、参加者の皆さんは軍手をはめ、トング、ゴミ袋を手に浅野2丁目にある事業所を出発。ゴールの浅野町緑地公園を目指す途中でAIM側とミクニワールドスタジアム側の2手に分かれ、道路沿いの植え込みの中に捨てられたペットボトル、ごみなどを丁寧に拾っていきます。そして浅野町緑地公園で合流した後、公園を清掃し、ペットボトルなどごみの分別を行いました。

浅野2丁目から浅野町緑地公園一帯は、市の施設が多く点在する街なかエリア。イベントの後などには数多くのペットボトルが散乱していることも多いのだそうです。毎回参加している方からは「タバコの吸い殻が一番多い。喫煙者のマナーが問題」、初めて参加した方からは「自分で拾ってみて、絶対に道路にごみは捨てられないと思った」などという声が聞かれました。

道路サポーターとして今後の目標は、「もう少し参加人数を増やし、トングでのゴミ拾いとホウキを使った落葉掃きが同時にできるようになればいいなと思っています」、同行した支援員の方がそう話してくれました。



取材  
de  
キャッチ

## そよ風花の会 道行く人が足を止める、より美しい自慢の花壇づくりに挑戦したい。

秋の花植えは11月18日曜日。以前の花植えでは、花壇の土より苗が高くなってしまったこともあり、今回は届いた花苗を囲んで、肥料のやり方や植え方など、専門家による花植え講習があり、参加者からはいろんな質問が出ていました。

花植えの日に合わせ、みんなが植えやすいように花を抜き、土を耕し、畝を作り、当日植える花の名前を記したものを花壇に配置するなど、有志の皆さんによる下準備が数日間かけて行われていました。これは山口ゆめ花博に出かけ、ボランティアの人たちが花を植える様子を見て、そのやり方を取り入れたものだそうです。

この場所は地域の皆さんにとっての生活道路であるため、通る人が花壇を覗いて「きれいですね」と声をかけてくれるのが、メンバーにとってなにより活動の励みになっています。

今後は、地域みんなに愛されているこの花壇を、もっともっと素晴らしいものにして、「花と緑のまちづくりコンクール」で入賞できるように頑張りたいと、これからの目標を話してくれました。



取材  
de  
キャッチ

## 九州総合サービス(株)北九州支社 地域に貢献する企業の活動は、今後ますます重要になってくると思う。

「この地域で仕事をさせて頂いていることから、地域のため、地元の皆さんに少しでも貢献できれば」という思いからスタートした、九州総合サービス(株)北九州支社の皆さんのまち美化活動。

1月30日の活動日、いつもより早くに出社した皆さんがヒバサミとゴミ袋を手に事業所を出発し、それぞれのコースに分かれてごみを拾います。事業所周辺は住宅地であり、一見、道路のごみは少ないのですが、やはりタバコの吸い殻があちこちに捨てられています。道路の端のタバコの吸い殻や植え込みの中のペットボトルなどを拾い、ゴミ袋に入れながら朝の道路を歩きます。

社名の入ったジャンパーを着用し、道路サポーターの帽子をかぶった皆さんが手際よくごみを拾っていく様子を観て、近所の方から「おはようございます」と声がかかります。地道に活動を続けてきたことで、時には挨拶に加え、「いつもきれいにさせて頂いてありがとうございます」と言ってくれる方もあり、その言葉が活動を継続するチカラになっているのだそうです。社員の皆さんにとっては、このごみ拾いがボランティア活動に関心を持つきっかけとなり、仕事だけではなく、地域に貢献することの大切さを実感することにもつながっているのだそうです。



取材  
de  
キャッチ

## 萩崎花壇の会 丹精込めた花壇が、うす暗かった高架下を誰もが通りたくなる花咲く道に変えました。

萩崎花壇の会では、月曜日から日曜日まで日割り2、3人の担当を決め、雨の日以外の毎日、花壇の水やりや雑草抜き、周辺のごみの清掃を行っています。全員が参加するのは、花植えと花抜き、そして月に1度、毎月第3土曜日に町内の清掃を行っています。

2月2日土曜日、町内の廃品回収の後、皆さんで花壇の手入れと清掃を行いました。参加したメンバーはみんなベテラン揃い。手を休めることなく手際よく花壇の雑草を抜きながら、質問に答えてくれました。

活動を続ける中で困っていることは、花壇の横にある木蓮の落葉。木蓮は葉っぱが大きく、枯葉の季節には大きな葉っぱが花壇の花の上に落ちるため、毎日の当番は花の手入れと同時に落葉の掃除に追われてしまうのだそうです。

毎日メンバーの誰かが世話をしている花壇には、四季折々美しい花が咲いています。道路サポーター登録から約8年、花壇の世話を継続することは大変ですが、近くの幼稚園児たちが花壇の横を歩いて「キレイ」と喜んでくれるのを観た時や、「いつもきれいにさせて頂いてありがとうございます」と通りがかった人から声をかけてもらおうと、「続けていてよかった」「頑張らなくっちゃ!」という気持ちになる、皆さんが笑顔で話してくれました。

